



『 ぱんだより 』

※パンダからのお便りという意味で「ぱんだより」と名付けました。
 スパークスのアジア地域における情報発信レポート

第70号(2011年1月7日)中国の鉄道事情



世界最速、最長、最大規模へ

2010年12月現在、中国の鉄道の総営業距離は約9万kmと、アメリカに次ぐ世界第二位の鉄道ネットワークになっています。その中で高速鉄道*の総営業距離は7,000kmを超えており、世界一の規模です。また、2011年10月に開通する予定の上海と北京を結ぶ高速鉄道は、試運転で世界最速の時速486kmを記録し、全世界に中国の「高速鉄道」時代の幕開けを宣言しました。

「高速鉄道」といえば、日本では1964年に開業した新幹線が代表とされますが、その後、欧州諸国でも技術開発が進みました。しかし、なぜ発展途上国である中国が、急に「世界一の高速鉄道大国」となったのでしょうか、その答えは政府の強烈な後押しにあります。2005年、中国政府が年間の鉄道建設に投じた額は880億元(約1兆1,400億円)でしたが、2009年は、約7,000億元(約9兆円)つまり2005年の約8倍の額に増加しています。

また、中国の鉄道部の幹部によれば、中国の「第十二回五ヵ年計画」において、今後鉄道への投資額は年間約7,000億元(約9兆円)、5年間で計3.5兆元(約45兆円)の投資が計画されているようです。しかも、そのほとんどは最新技術が使われている「高速鉄道」への投資のようです。2015年までで鉄道の総営業距離は約12万km、約3万kmの新規敷設が予定されています。

*高速鉄道:主に時速200km/h以上で走行できる鉄道システム。



注:写真はイメージです。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『 ぱんだより 』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート



続く、高速鉄道の夢

アジア製造業協会によれば、中国で高速鉄道を利用すれば移動時間は従来鉄道の3分の1以下、消費エネルギーは自動車の6分の1となるそうです。また、国土が広い中国にとって、孤立していた内陸部の都市と沿岸部の都市を短時間で結ぶことになり、製造業をはじめ、様々な産業に大きな経済効果をもたらすこととなります。高速鉄道の建設は、初期投資の経済効果以外に、中長期的な中国企業の生産スタイルや人々の生活スタイルに大きな変化を与えることが予想されます。持続可能な成長を目指す中国経済において、歴史的な意義も大きいと思われます。さらに、中国と周辺国家の間で鉄道網の拡張についての交渉も始まっているようです。

持続可能な成長の原動力

中国経済の最大の問題点の一つは、沿岸部と内陸部の貧富の格差であると言われています。沿岸部とは黄海、東シナ海などに接している地域のことを指し、1980年代、鄧小平の「先富論」により、加工貿易などを中心に発展してきました。その発展の背景が沿岸部の絶好の地理的条件です。2009年のコンテナ貨物の世界ランキングにもあるように、中国沿岸部の港は世界の大半のコンテナ貨物を取り扱っています。

ただ将来、中国と周辺国家の間で鉄道網が実現すれば、中国国内の物流問題が解消される見通しです。これにより内陸部の都市の経済が刺激されるだけでなく、沿岸部の港と同様の役割を果たすことで、中国経済の原動力になることも期待されます。いずれにせよ、高速鉄道が、中国経済の持続可能な成長の原動力になることでしょう。

2009年コンテナ貨物取扱個数の世界ランキング

順位	港名	取扱量(万 TEU*)
1	シンガポール	2,587
2	上海	2,500
3	香港	2,098
4	深セン	1,825
5	釜山	1,195
6	広州	1,119
7	ドバイ	1,112
8	寧波	1,050
9	青島	1,026
10	ロッテルダム	974

出所:「Containerisation International」 2010年3月現在

*TEUとは:コンテナ船の積載能力を示す単位

(編集後記) 中国二つの金融センターである上海と香港を結ぶ高速鉄道が、2014年以内に開通すると中国現地メディアに報道されました。完成すれば、本来、19時間もかかる道のりが3時間半に短縮されることになるそうです。



(告られタイ)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。